

1.事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 健康推進課がん対策推進室長 西尾 淳 電話番号 0852-22-6963

事務事業の名称	しまねがん対策強化事業	
目的	(1) 対象	医療機関
	(2) 意図	がん医療水準の向上及び均てん化を図る。
事業概要	①がん診療連携拠点病院機能強化事業：拠点病院の医療従事者の研修参加、がん相談及びがんに関する研修会等に係る経費の一部を補助 ②がん患者・家族サポートセンター運営事業：がんピアサポーターの養成、相談会の開催、がん相談員を対象とした研修、がん患者の就労相談会等の開催 ③がん登録事業：がん登録業務を島根大学医学部附属病院に委託実施	

2.成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	がん薬物療法及びがん放射線療法専門医数	目標値	20.0	20.0	20.0	20.0	人
	式・定義	がん薬物療法及びがん放射線療法専門医数	取組目標値					
			実績値	15.0				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名	がん診療連携拠点病院及び島根県がん診療連携推進病院数	目標値	6.0	6.0	6.0	6.0	病院
	式・定義	がん診療連携拠点病院及び島根県がん診療連携推進病院数	取組目標値					
			実績値	6.0				
			達成率	-	-	-	-	%

3.事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	60,117	58,245
うち一般財源(千円)	31,602	38,393

4.改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5.評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

・島根県がん対策推進計画に基づくがん医療従事者数の目標値について、がん薬物療法専門医、がん看護専門看護師、がん薬物療法に精通した薬剤師は、比較的順調に確保されているが、その他の医療従事者等は低い数値にとどまっている。【がん薬物療法等専門医：(H26)15人→(H27)15人 がん看護専門看護師：(H26)3人→(H27)3人 がん薬物療法に精通した薬剤師：(H26)14人→(H27)18人】
 ・がん相談員を対象とした研修会を3回開催し、102名が参加した。また、ピアサポーター相談会を拠点病院を中心に34回開催し、77名の患者等から相談があった。また、就労相談会を島根大学医学部附属病院において4回開催し、5件の相談があった。
 ・院内がん登録の実施機関数は13箇所になった。また、がん登録精度DCNは13.6%(H26年度：16.1%)となった。

6.成果があったこと(改善されたこと)

・がん薬物療法専門医、がん看護専門看護師、がん薬物療法に精通した薬剤師については、増加した。
 ・がん専門看護師は、がん診療連携拠点病院において、チーム医療のキーパーソンとして活動している。
 ・がん相談員を対象とした研修会を開催したことにより、資質向上を図ることができた。また、ピアサポーター相談会は患者の満足度が高かった。
 ・がん登録の精度向上を図ることができた。

7.まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」
 ・職種によって、養成や確保が進んでいない医療従事者がある。
 ・拠点病院等がない2次圏域についても、質の高い医療が受けられることが必要である。

②困っている状況が発生している「原因」
 ・県としては、がん医療従事者の人材養成のための支援に努めているが、各病院における医師確保が厳しい状況にあることや、看護師などを長期に研修派遣できる体制でないこと等から、結果につながっていない。
 ・2次医療圏域により、がん医療提供体制に差が生じている。
 ・がん患者の高齢化や地理的要因により、隣接の2次圏域への受診が負担となっている。

③原因を解消するための「課題」
 ・がん医療水準の向上の重要性について、病院長や病院の看護管理者・師長等に認識していただき、看護師などを研修派遣できる環境をつくっていただく。
 ・拠点病院と地域の病院等の連携によるがん治療体制の充実を図る。
 ・隣接圏域での受診のしやすさ(宿泊費用や交通手段の確保等)。

8.今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

・がん医療水準の向上のためには、人材養成は不可欠な要素であり、病院と連携し、拠点病院の補助により研修参加等への経費支援を行いながら、医療従事者の確保に努める。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価(任意記載)